

中庭.style

光と風のある暮らし

Vol.2

「やすらぎと豊かさを求めて」

※バックナンバーはホームページでご覧いただけます。



ワイン好きのご主人は、薪ストーブの炎を眺めつつワインを飲む冬の到来が今から楽しみなのだとか。



広いリビングとダイニングスペースは、中庭はもちろん、高い位置に設置された窓からも十分な採光を確保している。



杉板の美しい木目とライトアップされた坪庭が、訪れた人を邸内へと誘うエントランス。



「設計段階でもしっかり希望を伝えましたが、建築中の家のなかで、窓や壁の高さなどをこの目で確認しながら細やかに調整してもらえたのが嬉しかったですね」とご夫妻。



玄関や水まわりなども、スムーズな生活動線が結ばれたキッチン。「ストレスがないので、料理をするのも以前より楽しくなりました」と奥さま。



多忙な日々を送るご主人は、「家にいる時ほどにかく寛ぎたい」と照明の色や種類にもこだわった。



の検査会社が、「長期優良住宅」の一・二五倍、建築基準法の一・五倍の耐震性と評価する「スーパーロング構造体」を用いている。「寛ぎの家」は、「心から安心して住める家」でもあるのだ。

塀が巡らされた中庭からふんだんに光と風を取り込み、「街なかとは思えないくらい落ち着く空間になっている」と言う。いっぽう奥さまも、「大きな窓があるのに、リビングには一枚のカーテンも必要ないんです。外からの人目を気にせず暮らせるからとてもラクだし、外とつながっていないので三歳の長男を安心して遊ばせられます」といたく満足のご様子。
また、「コムハウジング」の家は、消防署や警察署の建物と同じ基準の「耐震等級3」が基本。第三者

プライバシーを守りつつ、光と風を取り込んだ、寛ぎの住空間を実現。

高い吹き抜けのあるダイニングを中心に、各部屋が緩やかに結ばれた当邸には、「住まい」に対するSさん夫妻それぞれの希望がしっかりと反映されている。「ご主人の「家族を大事にしたい」という想いと、奥さまの機能性や色合い、部材などに対するこだわりを、どちらも満たせるよう設計しました。そう話すのは、「住宅はまず「住む人ありき」、住む人が我慢して暮らすのではなく「家を住む人に合わせる」という信念で、「オンラインワンの家づくり」を続ける「コムハウジング」の西村暢啓社長。昨春、当社のオープンハウスを訪れたSさん夫妻は、その「坪数からは考えられない広々とした開放感」と、奥さま好みの「センスのいい色合いとデザイン」に心惹かれたという。「部材ひとつにしても何種類かのなかから選ぶのではなく、すべてをいかに考えていくスタイルは、まさしく自由設計だと感じました」と、二人は口を揃える。それから一年、綿密な打ち合わせを重ね、二人の希望はみごと、結実した。
仕事が多忙な日々を送るご主人が帰宅した時に「ゆったりとした気分になれるよう」玄関は余裕のある空間に。造り付けの収納スペースをたっぷり設けた廊下の先には、南側の高窓から柔らかな陽光が差し込む広々としたダイニング・キッチン。一角に配された、シックなトーンのガラスモザイクタイルの壁に、住まう人のセンスがうかがえる。間接照明を取り入れた折り上げ天井のあるリビングには、夫妻がわざわざ京都の専門店まで足を運んで選んだという薪ストーブが据えられている。ご主人のお気に入りには、リビングと中庭を見渡せるダイニングからの眺め。高い

感性ある住まい やすらぎの住宅
com HOUSING 50th ANNIVERSARY

岡山市北区十日市中町6-22
☎0120-67-2102 fax.086-223-2103
◆営/10:00~17:00
◆休/水曜・祝日
※オープン時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。
<http://www.comhousing.com>



コムハウジングが考える「中庭.style」

- 道路や隣家からの視線を遮ることで、カーテンがなくてもプライバシーを確保。
- 部屋と中庭の一体感で、開放的な空間を実現。
- 中庭に面する大きな窓から光と風を存分に室内に採り入れることで、移ろいゆく四季を感じる。
- 家事をしていても「目の届く屋外(中庭)」で子どもを遊ばせられる。
- 昼は人目を気にせずバーベキュー、夜はムードにライトアップするなど大人が遊べる空間。
- 道路面に大きな窓がないので防犯上も有利。
- 中庭は屋外なので建ぺい率に算入されないため、敷地をいっぱい有効活用できる。
- 庭を建物内に取り入れることで家が大きく見える。
- 中庭に面する一角にお風呂をつくり、「プライベート露天風呂」感覚でバスタイムを楽しむ。



窓を開けてバスコートの照明だけで入浴すると、「露天風呂気分を味わえる」とご主人。



リビングに面した中庭からは、部屋全体を包み込むように柔らかな光が差し込む。「鉢植えを配したり、これから中庭をコーディネートする楽しみですね」と奥さま。



「以前から家を建てる時はどこかに使いたいと考えていたんです。そう話す奥さまが、数多くの見本から選んだガラスモザイクタイルが壁を飾る。